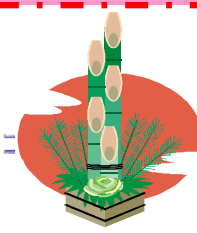




第4号 平成17年1月1日発行

発行元：橋病院 編集：橋病院広報委員会

ホームページ：<http://www.tachibana-hospital.jp>
(この広報誌はホームページに掲載中です!)



ドクタートーク

「年頭所感」

新年明けましておめでとうございます。

昨年1年間は、病院機能評価に向けての準備と父の看病と死でまさにアツという間に過ぎてしまいました。

今年は、なんとしても病院機能評価での認定取得を一発クリアーして、更なる次のステップに取り掛かりたい。患者さん達からみても、橋病院のスタッフ一人一人の意識が変わったと評価されるほどに実質的に変革し、病院全体がほのぼのと温かくて、診療内容が親切で安心と信頼に満ちている病院にしたいという思いである。

病院としての目標は、病院の法人化、クリニックの開院、電子カルテの導入、亜急性期病棟や回復期リハビリ病棟への転換、人材の育成と充実、組織の確立等やり遂げねば成らないことが山積みである。個人的には、願わくば健康で、何時でも駆け足できる身体を維持したい、希望は旅行と趣味の時間がとれるようにして明日への活力を養いたいものである。

今年もとても忙しい一年になりそうですが、体力の続く限りベストを尽くす所存ですので、皆様のご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

院長 矢野良英

婦長さん・主任さん

〈 ある部屋での出来事 〉

包帯の巻きなおしを依頼され部屋にいくと、「あんよ、あん中(詰所)で一番強い誰ね?!」と聞かれ 師長? 本当に強い人?と意味がわからず返事に困ったことがあります。今度は私の方から「どういう意味の強い人ですか?」とたずねて見ました。すぐに「師長さんよっ!」とやや強い口調で言われました。すると、そこには(どうしよう・・・わたして言えない・・・)という私がいまいました。しばらく黙って、「すみません、私なんです。見えないでしょ??」とただ下を向き包帯を巻いていました。その人はギャハハと笑いました。そして「なんで断らんかったのね?」と(やっぱり、見えないんだ、)と心の中でため息がでました。ただ一生懸命に応えている自分がいるのも事実でした。「悩みました、だけど良い機会を与えて下さったし最初からすべて出来るわけでもないしそんなところはたぶんわかっていらっしやとおもいますよ、すこしずつ経験や勉強をさせてもらって今は頑張っているのかなと思っていますよ。だけどそれでもダメなときは話にいくつもりです。」というとその人は、黙ってうなずいてくれました。数日後には、「人をみる力」「養う力」を身につけなさいと心温かいご指導も頂きました。24時間あっても足りない現実がありますが、幸いにも良いスタッフの協力があり、頑張っている新米師長です。

Q & A コーナー

《薬剤師》 津曲美智子 ・ 中村友江

Q1、シップには白くて少し厚手のシップ(パップ剤)とテープ状のシップ(プラスター剤)がありますが、どう違うのでしょうか?

A、どちらともシップの中に入っている痛みをとる成分はそんなに変わりません。ただ白くて厚手の方(パップ剤)はシップ中の水分含有量が多いため、皮膚の保護作用、保湿作用、保温あるいは保冷作用が期待できます。それに対してテープ状の方(プラスター剤)は水分含有量が少ない分粘着力が強く薄いです。また薬効を発揮する成分を皮膚に密着させ徐々に吸収させることが可能です。

Q2、シップはいつはるのが一番効果的なのですか?

A、シップ薬は痛みがひどいときにははるのが主だと思いますが、一日の内で痛みが一番やわらいでいるときにははるのも凄く効果的です。痛みがひどいときには、痛みによって筋肉が縮小し、血管が圧迫されて血行不良となり、痛みを引き起こす物質がたまって余計に痛くなるという悪循環が起こることもあるので、痛み止めのシップ薬でも効果が出にくいときがあります。一方、痛くないときは、この痛みの悪循環ができていませので、シップをはると痛みの元が断たれ、筋肉の収縮や血行不良も防ぐことができて効果的です。例えば入浴後の、血行もよく痛みも和らいだときなどに試されてみてはいかがでしょうか。

Q3、シップによるかぶれの原因は何ですか?

A、大きく分けて2つあります。一つは、有効成分に対するアレルギーによるかぶれがあります。また、テープ状などによく見られる粘着性による刺激の強さでかぶれることもあります。他には通気性による「蒸れ」が原因のかぶれもあります。

Q4、かぶれない為の対策はありますか?

A、アレルギーによるかぶれを避けるためには、その原因物質を確定し、これらの物質を含むシップ薬を使用しないことです。また、主成分(有効成分)の異なる複数のシップ薬でかぶれたことがある場合には、かぶれの原因は、添加物である可能性が高くなると考えられます。もし以前にかぶれたことのあるシップをお持ちでしたら薬局で成分などを調べますので、お気軽にお持ちください。またテープ剤などの刺激によるかぶれを防ぐには、1時間くらいいったらシップをとるなどして、なるべく刺激を長時間与えないようにすることが大切です。

「蒸れ」によるかぶれは、シップを貼付する前に切り込みを数箇所入れて、通気をよくするなどの対処をしてください。

切り込みを入れる



このコーナーでは皆さんの質問を受け付けています。当院の医師、看護師、薬剤師、理学療法士、栄養士、放射線技師、事務員が回答いたします。文書や、口頭、メールでもかまいません。

(メールアドレス info@tachibana-hospital.jp)



早食い改善講座

私達は、食べ物を咀嚼することで食感を楽しみ、味わい、精神的満足感をも得ています。よく噛むと、唾液の分泌が盛んになり、味蕾が刺激を受けて敏感になって、“味わう”ことができます。また、唾液には解毒効果があることがわかっています。食べ物が豊富にある現在、食べる意欲や楽しみが減っています。よく噛み、よく味わうことは、人間として食を楽しむ、心や生活を豊かにする原点です。

【早食い改善10か条】

一、食べ物は少しずつ口に入れ、ほお張らない。

一、ゆっくり噛み、飲み込もうと思ってからさらに5回噛む。

「1口30回噛む」という啓発がよくされていますが、食品により噛む回数は異なりますし、数えながらでは、食事の楽しみが減ってしまいます。

一、食物繊維の多い野菜を取り入れよう。ゆでるときはかたゆでに。

野菜は煮るより生のほうが、噛む回数を増やすことができます。しかし生で食べられない場合はかたゆでに。

一、口に入っているものを飲み込んでから、次の食べ物を口に入れる。

早食いの人の多くは、何種類ものおかずをどんどん口に入れます。

一、外食時は品数の多い和定食などを選ぶ。

和定食は食物繊維が多く含まれる料理が多く、しっかり噛んで食べるようになります。

一、そばやラーメンなどは、かき込まないとおいしくないと感じがちなので、要注意。

のど越しでおいしさを感じる食べ物は、麺を太めにしたりかたゆでにしたり、調理の際に噛んで食べられる工夫をしましょう。

一、汁物やお茶などの水分といっしょに流し込まない。

パンのように、パサパサした食べ物は、水分で流し込みがちです。よく噛んで唾液と混ぜ合わせ、おいさを味わってください。

一、調理するときは細かく切らずなるべく大ぶりに切る。

小さく切るより噛む回数が増えます。

一、加工食品には、ひと手間を加える。

野菜、きのこ類、肉類、魚介類を加えると噛む回数が増加します。

一、ゆったりとした気分で、会話を楽しみながら食べる。



リハビリワンポイントアドバイス

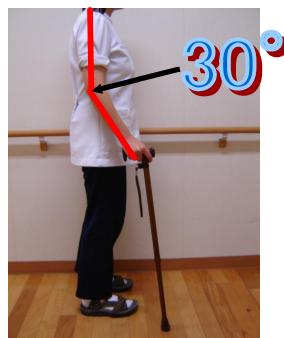
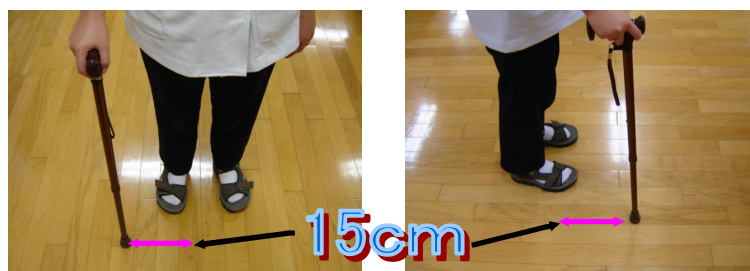
＜杖の高さについて＞

今回は杖の高さについてアドバイスしたいと思います。自分で高さを合わせている人は、ほとんどの人が長すぎます。自分で長さを調節された方は、次のことに注意して長さを確かめてみてください。

杖の高さの合わせ方について説明します。

まず、杖をつま先から15cm前・15cm外側につきます。次は肘が30°曲げる程度(少し曲げる)に高さをあわせませす。この高さが歩いてみて力が入りやすい位置になっていると思います。

杖の高さについて気になる・わからない点がありましたらいつでもリハビリスタッフまでお尋ねください。



『直接介助』



はじめてメスを持った時の記憶はまだ鮮明に覚えています。先輩に横についてもらいながら、「メス」というと、手のひらにパチッとメスが渡されました。張りつめた緊張感の中で、次々に手術器械が渡されます。比較的冷静で緊張も無く、僕があせっていても淡々と仕事を進める、ときには何も言わないのに器械をもって待っている。ちょっとしゃくにさわるけど頼りになる人、それが研修医のときの手術室・直接介助ナースの印象です。手術室で術者と同じように手洗いし、手術着を着て器械出するナースを直接介助と言います。最近はナースからドクターへメスを手渡しすることはありません。針刺し事故や手指の切創などを防止するために、器械を渡すための中間地点での置き渡しを行います。手術器械も数年前より数と種類がはるかに増加し、担当看護師も覚えるのが大変のようです。さらに、手術が流れるように進行するためには先を読みながら介助してもらわなくてはなりません。術者の勝手な意見かもしれませんが、直接介助がもたもたと戸惑っている時間は単なる手術時間、麻酔時間の延長で、時間のロスです。さらにリズムは狂って、集中力が低下します。アメリカAORIのDr.Englの手術室にかなり高齢な、おそらく70歳以上の直接介助ナースがいました。若手のドクターが手術中手間取ってあせってバタバタしてるとき、横から「まあまあ、はいはい」と言いながらゆっくりとしたペースで器械を出してきます。ドクターはさらにいらいらしますが、器械出しは的確で手術のリズムはこのナースが創ってるように見えました。

今、ここの手術室には人工関節の器械出し直接介助のできるナースが5人、ほぼできる段階が2人、さらにその下に勉強中が数人います。人工関節に関する直接介助のレベル、人数とも県内ではダントツで、人工物手術の感染率0%は、直接介助と消毒室スタッフの誇りといえるでしょう。まだあのAORIのナースまでではないけど、僕のペースがにぎられてしまうのもそう遠くないような気がします。

柏木輝行



研修会

平成16年10月28日(木)に消防訓練を実施しました。



今回は昼間での院内火災を想定し、ヤマトボーデン(株)担当者を変えて、当院の自衛消防隊で活動訓練を行いました。

防災対策委員会より

平成16年12月18日(土)医療廃棄物取り扱いについての勉強会を行いました。



(出席者数50名)

感染性廃棄物について職員の認識・判断力向上に努めていきます。

院内感染対策委員会より

平成16年12月25日(土)接遇に関する勉強会を行いました。



(出席者数62名)

当院の接遇マナーブックを作成いたしました。今回このブックを元に挨拶の仕方、言葉使いや身だしなみ等について勉強いたしました。今後とも気を配り、その場でふさわしい対応ができるよう努めてまいります。

教育研修委員会より

手術室だより

平成16年10月9日都城市郡医師会病院にて看護研究発表会が行われ当院も以下の題目にて発表を行いました。

『当院における医療事故対策への取り組み』

橘病院 整形外科
◎立野美穂 連城幸枝 大鼓かおり
柳橋紅美子 藤野八百子
内村真奈美 森山梨香 立元恵

手術症例の増加と手術室での看護業務の複雑化に対応するため、当院でも医療事故、特に手術室内で起こり得るリスクに対する予防対策を行ってきました。今回その対策の一つとして、手術室内で起こりうるリスクとその対策に関する現在の設備、状況、教育内容など照らし合わせ作成、さらにマニュアルに関する、アンケート調査を実施しその内容をもとに追加点、改善策、今後の活用方法を検討しました。

アンケートをお願いした施設は、宮崎県の医療現場、特にリスクの高い手術室の第一線でご活躍の師長様にお願いしました。

(都城市郡医師会病院手術室、独立行政法人国立病院機構都城病院、県立日南病院、宮崎市郡医師会病院、宮崎社会保険病院、豊見城中央病院、宮崎大学付属病院手術室)

アンケートは、現在7施設中4施設より回答をいただきました。

主な項目は、患者同定ミス、体内遺残、手術体位、転倒・転落、薬剤ミス、輸血ミス、体内留置、熱傷事故などで、さまざまなご意見、御指導をいただき、マニュアルの充実と、改善を行うことができました。

このマニュアルを使用したスタッフ教育と、自己研鑽によって事故防止に努めていきたいと思っています。今後、マニュアルの改訂を経時的に行い、マニュアルの周知・徹底、スタッフ教育を実施し個人評価の向上の有用性を見出したいと考えます。



かわいい生徒さんをむかえて…



この度、小松原中学校の生徒さんが、薬局に1名、リハビリに1名体験学習に見えました。我々も不慣れであまりいい対応が出来たかどうかちょっと疑問です。でも元気をもらって、楽しい一日を過ごさせてもらいました。

今後、夢の実現にむかって一生懸命がんばって下さい。応援してます！！

〔記事 津曲美智子(薬剤師)〕

「手術までの勇気と決断」

廣津晴夫



ある日、痛さが限界までに来た時、柏木先生の元を訪れ、レントゲンを見ながら人工関節の手術の説明を受けた時は不安と怖さでいっぱいだったけど、今ここで決断しないかぎりこの激痛とはお別れできない事だしと思い、思い切って手術をお願いしました。

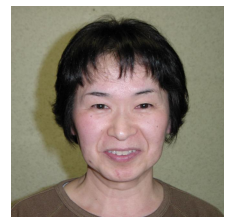
いざ入院してからは案外開き直れて、まな板の鯉ではないが、柏木先生に託そうと思え、日々心の準備もでき手術に向かうことができました。まず片足の手術後が全く痛さのなかったのに不思議なくらいでこれだったらと、もう片足の手術には全く不安もなくなりました。その後はリハビリとの格闘でしたが、塩崎先生の良きご指導を受けながら、日に日に歩行が出来るまでになり最初、杖なしで歩けた時の嬉しさは天にまで昇る様な気持ちで家族みんなと涙して喜びました。もうこれで理容業の仕事にも復帰できることだし、大好きなゴルフや魚釣りもできると思うとただただ柏木先生や塩崎先生に感謝の一言です。

長い様で短かった約4ヶ月の入院生活でしたが、この間、橘病院の全スタッフの明るい笑顔や会話に励まされ無事に退院できたのも本当に全スタッフのお陰でした。今後もハードな仕事にもめげず目標に向かって笑顔でがんばってください。

また時々ハリバリにも来院しますので、その時はよろしく願いいたします。

「手術後3年になります」

高橋 環



右股人工関節置換術をして、この12月で3年立ちます。あの何とも例えようのない痛みと不安に耐えかねて知人の紹介で橘病院を訪ねました。

当時はまだ以前の古い建物でしたが、柏木先生の手術に関する誠意ある説明、それから私の質問に納得いくまで答えてくださった先生と看護師さんの顔を見て、ここで手術を受けようと決心したのを思い出します。仕事もある、子供もまだ学生だから、今の生活を大事にしたい、今動きたいという私の希望で即、手術を受けました。辛かった術後のリハビリも理学療法士の先生、看護師さんに励まされ順調に進めることができました。私は日南からでしたが、すぐに友人もでき、今でも時々電話してお互いの状況を知らせあっています。家事と仕事をこなし、日課にしている水中歩行と体調が良い時は泳いでいます。クロールの息づきがもう少しというところです。手術をして安心してしまったせいか近頃体重も増えてきました。12月の定期検診までにダイエットをしなければと思いつつ、リハビリに励んでいます。

先月、宮崎であった、股関節患者の会の催すフォーラムに参加している方々の手術に関することとか、体験談とかを聞くことができ、幾分気持ちや和らぐにを覚えました。

12月に3年目の定期検診に伺います。先生、スタッフの皆様にお会いできるのを楽しみにしています。



クリスマス会

平成16年12月18日に当院、3階食堂で入院患者様とクリスマス会を行い、大いに盛り上がりました。



カメラはこちら！！



上手に割れるかな？？？



流行のマツケンサンバ””頑張ってます、、オレッ！！

12月に入るとすぐに、ツリーに飾りつけを行い、3階食堂に設置し、雰囲気作りナースステーションの飾りにも気を配りました。2週間前から出し物の準備にかかり、踊りに必要な竹切にも出かけました。また、歌や踊りの練習にも熱

が入り、皆遅くまで頑張り、当日は、歌や踊りゲーム等でおおいに盛り上がり楽しい時間を過ごして頂き患者さまには一時でも病を忘れていただいたのでは？、、、、、、又スタッフ一同も患者様の喜んでくださる姿に感激しました。

〔記事 山下・徳丸(療養病棟スタッフ)〕

橘病院の理念(私たちがめざすこと)

当院は「医療の質の向上」を追求し、患者様(家族)と職員・スタッフがともに「心ゆたか」になれる病院を目指します。患者様の1日も早い社会復帰(家庭、就労、就学など)を願い、地域住民から安心され、信頼され、共感を得られる病院づくりを目指します。

標語

- 10月 清潔の心がけ 深まる患者様との信頼
- 11月 確認を重ねて防ぐ 医療ミス
- 12月 医療事故 心のゆとりが 再発防止
- 1月 日常業務 慣れた時こそ 気を抜くな

(環境美化係より)

(あとがき)

新年あけましておめでとうございます。今年はますます皆様が楽しめる広報誌を作っていきますので何とぞよろしくお願い申し上げます。昨年、患者のつどいのコーナーをホームページに作りました。手術された方々よりいろんな感想・情報をいただき1部この広報誌にも掲載していきますのでご覧下さい。

広報委員

新留ひとみ・森山善子・前田智子・連城幸枝・谷山くるみ・森山梨香・加治木 愛
山元加代子・小八重静香・山下みさ子・増田真樹・柏木輝行